

平成 3 1 年第 3 回定例会
(第 11 日目)

津 別 町 議 会 会 議 録

平成 31 年第 3 回 津別町議会定例会会議録

招集通知 平成 31 年 2 月 27 日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 平成 31 年 3 月 15 日 午後 1 時 00 分

閉会日時 平成 31 年 3 月 15 日 午後 1 時 53 分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 佐 藤 久 哉

議員の応召、出席状況

議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況
1	篠 原 眞稚子	○	○	6	渡 邊 直 樹	○	○
2	小 林 教 行	○	○	7	山 内 彬	○	○
3	村 田 政 義	○	○	8	巴 光 政	○	○
4	乃 村 吉 春	○	○	9	佐 藤 久 哉	○	○
5	高 橋 剛	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐 藤 多 一	○	監 査 委 員	藤 村 勝	○
教 育 長	宮 管 玲	○	選挙管理委員会委員長		
農業委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	伊 藤 泰 広	○	生涯学習課長	藤 原 勝 美	○
総 務 課 長	齊 藤 昭 一	○	生涯学習課主幹	石 川 波 江	○
総 務 課 主 幹	近 野 幸 彦	○	学校給食センター主幹	阿 部 勝 弘	○
住民企画課参事	森 井 研 児	○	農業委員会事務局長	横 山 智	○
住民企画課主幹	松 木 幸 次	○	選挙管理委員会局長	齊 藤 昭 一	○
住民企画課主幹	中 橋 正 典	○	選挙管理委員会次長	近 野 幸 彦	○
住民企画課主幹	加 藤 端 陽	○	監査委員事務局長	松 橋 正 樹	○
保健福祉課長	小 野 淳 子	○			
保健福祉課主幹	千 葉 誠	○			
産業振興課長	横 山 智	○			
産業振興課参事	小 野 敏 明	○			
産業振興課主幹	小 泉 政 敏	○			
建 設 課 長	石 川 篤	○			
建 設 課 主 幹	石 川 勝 己	○			
会 計 管 理 者	五十嵐 正美	○			
総務課庶務担当主査	菅 原 文 人	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	松 橋 正 樹	○	事務局臨時職員	安 瀬 貴 子	○
事 務 局 主 査	小 西 美和子	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	3 番 村田 政義 4 番 乃村 吉春
2			諸般の報告	
3	議案	17	平成 31 年度津別町一般会計予算について	
4	〃	18	平成 31 年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について	
5	〃	19	平成 31 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について	
6	〃	20	平成 31 年度津別町介護保険事業特別会計予算について	
7	〃	21	平成 31 年度津別町下水道事業特別会計予算について	
8	〃	22	平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について	
9	発議	1	閉会中の継続調査(審査)について (各常任委員会)	
10	〃	2	閉会中の継続調査(審査)について (議会運営委員会)	
11	〃	3	懸案事項促進のための議員の派遣について	
12	報告	2	専決処分の報告について(中型スクールバス購入に係る変更契約の締結について)	

日程	区分	番号	件名	顛末
13	報告	3	例月出納検査の報告について（平成 30 年度 11 月分、12 月分、1 月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） こんにちは。

ただいまの出席議員は全員であります。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において

3 番 村 田 政 義 君 4 番 乃 村 吉 春 君

の両名を指名します。

◎諸般の報告

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、諸般の報告を行います。

事務局長に報告させます。

○事務局長（松橋正樹君） 諸般の報告を申し上げます。

本日の議事日程については、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

3 月 12 日の第 2 回報告から、本日までの議会の動向につきましては、お手元に配付の第 3 回報告書のとおりであります。

本日の会議に説明のため出席する者の職、氏名は第 1 回目の配付している説明員の出席に関する報告のとおりであります。職務の都合より一部に異動がある場合がありますことをご了承願います。

以上でございます。

○議長（鹿中順一君） これで諸般の報告を終わります。

◎議案第 17 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 3、議案第 17 号 平成 31 年度津別町一般会計予算に

ついてから、日程第 8、議案第 22 号 平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算についてまでの 6 件を一括議題とします。

各会計の内容の説明は既に終了しておりますので、昨日に引き続き質疑に入ります。

質疑はできる限り簡潔に、議題外に渡らないようにし、答弁についても要点をとらえて簡明をお願いします。

質疑に際しては、予算書に記載のページ数は言っていただきます。

日程第 3、議案第 17 号 平成 31 年度津別町一般会計予算について、昨日に引き続き一般会計予算の歳入について一括質疑を許します。ページ数は 11 ページから 46 ページまでです。

9 番、佐藤久哉君。

○ 9 番（佐藤久哉君） 36 ページ、動産売払収入でオフセット・クレジット売払収入 43 万 2,000 円が計上されております。オフセット・クレジットに関しては、大口の買い取り企業が撤退したということで若干低調なのですけども、残りオフセット・クレジット販売可能額か、可能量がわかれば教えていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課参事。

○産業振興課参事（小野敏明君） オフセット・クレジットの売上げに関する原材料ですけども、お話のとおり、これまで大口 600 トンぐらい毎年買っていたところ、吸収系からグリーン電力系変わりました。今年の販売については 32 トンで、残り 932 トン分が残っております。

以上でございます。

○議長（鹿中順一君） 9 番、佐藤久哉君。

○ 9 番（佐藤久哉君） 932 トンということで、確か一括取得した時は四千何百トンだったと思うのですけども、残り少なくとも 32 トンぐらいずつの出方だったら確かにまだ 10 年以上もつのですけど、これ大変私はいい事業だと思っております。

そこで、大口の販売先を見つけることも、2 年たってちょっと難しい状況で、このような予算計上になっているので、ふるさと納税の返礼品にできないかというふうに思うのですが、それはふるさと納税の返礼品というのは牛肉ですとか海産物ですとか非常に人気がありますけども、日本国民捨てたもんじゃなくて、きっとそういった

ことに意義を見出して、返礼品にオフセット・クレジットいいね、ということで納税してくれる方もいるんじゃないかなと。そういったことも、これだけで魅力が薄ければ、何か木材の木芸品をプラスワンぐらいして、お礼の気持ちとオフセット・クレジットを買ってくれるとか、それに対してふるさと納税をしてくれるという行為に対して報いるぐらいの木芸品とセットにしてメニューをつくってみてはどうかかなと思うのですけども、考えをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 産業振興課参事。

○産業振興課参事（小野敏明君） ご提案のありました、ふるさと納税で、実は2年前に企業系のふるさと納税というのもできまして、そのことも検討したのですけども、なかなかちょっと今の段階で無理だということでありました。今回、ふるさと納税を新たな企業の方に委託されるということで、そちらに移行できるのかどうか検討をさせていただきたいなと考えております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 一般会計予算の歳入の質疑を中断します。

以上のとおり一般会計予算の各区分ごとに質疑を行いました。一般会計予算の全体を通して質疑漏れがありましたら質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で一般会計予算の質疑を終結します。

◎議案第 18 号

○議長（鹿中順一君） 次に、日程第 4、議案第 18 号 平成 31 年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は 504 ページから 548 ページまでです。

5 番、高橋剛君。

○5 番（高橋 剛君） 1 点だけ確認させていただきます。537 ページ、各種検診助成事業なのですが、これの簡易脳と心血管ドックの助成事業がありますけれども、こち

らのほうの実績はどうなっておりますでしょうか、お答えいただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） 537 ページ、各種検診助成事業の簡易脳・心血管ドック助成事業についてご説明いたします。平成 29 年度は脳のところにつきましては 76 名、心臓につきましては 65 名、そのうち両方受けられた方は 58 名、実績は 83 名ということになっております。そして現在まだ何週間かはありますが、現在のところ脳の方は 14 名、心臓のほうは 44 名、両方受けられている方は 43 名ということで、現在申込者は 63 名いるのですけれども、今のところ受診している方は 58 名という結果になっております。

○議長（鹿中順一君） 5 番、高橋剛君。

○5 番（高橋 剛君） こちら、今数字を教えていただいたのですけれども、追跡調査のようなことはやっているのでしょうか。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） 29 年度のほうでは、要精密検査という結果が出てきている方たちが病院受診につながっているかどうかの追跡調査は行っております。現在のところ何かしらの病院に受診があるということで、まずはその後に結びついていかなというところではありますが、その後健康推進とも連携をとりながら、その後の状態がどうなのかというのも今後の課題としてあるということでは考えております。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

9 番、佐藤久哉君。

○9 番（佐藤久哉君） 537 ページ、健診等業務これは特定健診だと思うのですが、特定健診の受診機会が年 3 回から年 2 回になって 2 年だと思うのですが、ここ数年その 3 回から 2 回にしたことによって、受診件数が減っているというようなことがないのかどうか、実際にそれがなくてもやや減少傾向だということはわかっているのですけれども、数値と見解をいただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） こちらのほうの健診業務のほうにつきましては、特定健診という事業で取り組まれているものでございます。やはり 3 回から 2 回にな

ったということで懸念はしていたところなんです、例年の受診者数とかを追跡調査する中では、それほどの減少はないという結果が出ております。ですから回数とかいうのは人口も減っているというところもあるかもしれませんが、健診のほうにつきましては、ちょっと今すぐ数字はどこかに書いてあるのですが、ちょっと出てこないのですけれども、減少とはなっていないということになっております。

○議長（鹿中順一君） 9 番、佐藤久哉君。

○9 番（佐藤久哉君） 黙っていても人口減がありますから、当然受診者数は減ってくると思うのですけども、昨日もお話しましたけども、やっぱり健康寿命を延ばしていくという考えの中では、特定健診、それから先ほどの脳ドックもそうですけども、こういった事業は本当に拡大していかなければいけない事業だと思います。そんな中で回数が減ってその後心配していたわけですが、いろいろな形で呼びかけて努力されていることは重々承知していますけども、今後も業務に対して拡大していく意気込みであたっただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） 特定健診の率からいけば、ここ 1、2 年上がってきている状況になっております。今年は 29 年度の実績では 35.6%という数字が出ておまして、北海道内の中でも津別町はちょっと高い数字が出てきております。この結果というのは、やはり勧奨通知、電話だとかはがき、一度 27 年、28 年の時にそういう事業も行ったのですが、その後、職員が電話をかけたり、はがきを出したりしたりということをして受診率にも結び付いております。

国のほうのこの特定健診の取り組みの中でも、今現在がそういう勧奨通知が効果を表しているのではないかとということも出ておりましたので、議員おっしゃるとおり今後も受診に向けて取り組んでいきたいと思っております。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

1 番、篠原眞稚子さん。

○1 番（篠原眞稚子さん） 537 ページですが委託料の中で健康づくり事業というのがあります。2 段に渡って各種検診助成事業の中と、もう一つの 18 万 2,000 円と 126 万 8,000 円とがあって、チラシ等でいろんな健康づくりに関するものが入ってくるのです

が、年齢の制限、そういうのがあるように聞いている、行こうと思うけども、なかなか微妙な年齢で切られているので行けないという、高い年齢のところは割と昼間のゆったりした時間なんですけど、まだ仕事をしているような微妙な年齢層の人がどっちにもつかないというような話を若干聞くことがあるのですけども、この委託先と内容と、その制限があるようなところの話をお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） 町の健康づくり事業というところで、特定健康診査等事業のほうの委託料の健康づくり事業というのは、特定保健指導、健康運動士の派遣の委託ということで、そういう方をその事業に派遣いたしまして指導していただくという予算をつけまして行っております。

そして、その下の各種検診事業のほうの健康づくりというのは、各種がん検診や、そういうところの事業を行っているものでございまして、年齢制限はこういう健康づくりでは、やはり 40 歳だとか、50 歳とかありますが、保健師のほうでやっております健康づくり教室のほうでは 40 代ですとか 60 代というふうになっておりますので、やはり 50 代の方が 60 代の方の中に入るとかということでは、なかなか入りづらいところはあるのかもしれませんが、その広く年齢に制限のない参加を希望している方もいらっしゃるということでいけば、今後の検討課題にもなるのかなとも思います。そういう要望が強いということでいけば、これからの健康づくり事業の中も、もういろいろなことで幅を広げていければと考えております。

○議長（鹿中順一君） 1 番、篠原眞稚子さん。

○1 番（篠原眞稚子さん） 健康づくり事業の健診とかそういうことではなく、終わった後、健康を維持するためとか、そういうのでたくさんの健康教室というのでしょうか、そういうのが入ってくるところなんかは大きなくくりがあって、高齢者といわれる 65 歳以上とか以下とかの制限をしてあって、運動するようなところもここに加味するのかなというふうに思ったのですが、回答を聞いているとそうではないみたいな感じだったのですが、やっぱり健診ももちろん大事で、その中からいろんなことが健診の結果いろんな話になります。昨日も出ていた栄養が大事、元気な高齢化時代とかそういうところでは、もう一方ではやっぱり運動の大切さというのとも言われ

ていて、すごくたくさんの運動に対する教室というのでしょうか、呼びかけのチラシは見るのですけども、なかなか高齢者になったばかりの65歳の人に限定するのであれば、まだちょっと仕事をしていてそのクラスには入れないと。それ以外のところが割と64歳までというようなことで、気にしなく行っているという人もいますのですけども、最初のところに年齢制限があると、なかなか行きづらいというような話も、行こうとしている人から聞くこともありますので、運動は健康を維持していくためにすごく必要であるということで、今トレセンなんかもいろんなアピールをして、いつになく運動に対する意識というか意欲というのが高まっていると思うのです。そのときにちょっと専門家がいるようなところに出席すると、だらだらとするのではなくて、より密度の高いというか、そういうような健康維持の一つになるかなと思いますので、あまり特別制限が必要があれば、やむを得ないかと思いますけれども、そうでないときにはもう少し募集の範囲のところで柔軟にすると参加者が増えるのではないかなと思いますので、ご検討いただければと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小野淳子さん） 国保のほうは、やはりこの健康づくり事業というのはがん検診ですとか、そういう健診業務というふうになっております。それで健康推進ですとか社会教育のほうともいろいろ連携しながら健康づくりの事業という教室なども行っております。現在そういう意見の方もいるよということがありますので、ゆるやかな、そういう方たちも参加できるものということも考えていきたいと思えますし、昨日も糖尿病重症化予防というところで、健康で過ごしていけるためにというご意見もいただきまして、まだ事業化というふうにはなっていないのですが、国保のほうでもそういうデータをもとにして、いろんな状況がわかってくることで、教室がいいのか、そういう意識を高めるような勉強会、相談会がいいのかというところもいろいろ考えておりますので、今後それも含めて一緒に検討していきたいなと思います。

よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で国民健康保険事業特別会計予算についての質疑を終結

します。

◎議案第 19 号

○議長（鹿中順一君） 次に日程第 5、議案第 19 号 平成 31 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は 549 ページから、560 ページまでです。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で後期高齢者医療事業特別会計予算についての質疑を終結します。

◎議案第 20 号

○議長（鹿中順一君） 次に、日程第 6、議案第 20 号 平成 31 年度津別町介護保険事業特別会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は 561 ページから 604 ページまでです。

5 番、高橋剛君。

○5 番（高橋 剛君） こちらも 1 点だけお伺いさせていただきます。579 ページ、居宅介護のサービス等給付経費の、こちらのほうはホームヘルパーですとかデイサービスの料金というふうにお伺いしていますけども、1 億 3,964 万 3,000 円と非常に額が大きくなっているのですけども、今のシステム等を考えれば額が大きいのでは納得できるのですけども、こちらの本年度の利用者などの数がわかれば、それと今年のこちらの予算に計上されております金額の利用者等がわかればでかまわないのですが、教えていただければと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） ただいまご質問のありました 579 ページ、居宅介護サービスのヘルパーの訪問の部分ということでよろしかったですね、今年度の利用につきましては 2 月までになりますけども、件数で 578 件、回数で 6,861 回、給付額については 3,126 万 348 円ということになります。

もう 1 カ月、給付ということになりますので、もう一月分が加わるということにな

ってきております。今年度の予算につきましては、身体介護の部分で、10人で月9回の利用を12カ月、それから身体生活の部分で40人、月10回の方で12カ月を見込んでおります。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 5番、高橋剛君。

○5番（高橋 剛君） こちらのほうでちょっと気になったというか、津別の人口はずっと減ってきているのですけども、やはり高齢化率が上がってきて、こちらもどうしても増えていかざるを得ないのかなという印象はもっているのですけれども、今の現場の受けている感じでもかまわないのですけども、この傾向がしばらく続く、何年か先まで、例えば昨年度ですと一億二千何がし、今年は一億三千ということで、一億四千近いということで増えているのですけども、この傾向がしばらく続くという見通しと考えてもよろしいのでしょうか。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） 今後の見通しということでお答えをさせていただきますと思います。現在、介護保険につきましてもなるべく在宅でということで、介護予防を含めて取り組みをさせていただいておりますが、実際のところはやはり介護サービスを受けるという方は年々増えてきているようにはなっております。その中で先ほどもお答えしましたけれども、今年度との推移というのは大体同じような形になっているのかなと思っております。このまましばらくこの状態が続く、ただ、1人、2人でも急に受けるようになって、何か重い介護の方ですとか、サービスを非常に受けられる方がいますと給付費のほうが伸びてくるということになりますので、その辺でいくとちょっと読めないところもあるのですけども、いずれにしましてもサービスをなるべく受けたくないような形で、おうちのほうで暮らしていけるような施策のほうを進めていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 5番、高橋剛君。

○5番（高橋 剛君） 最後に意見なんですけども、今主幹のほうからお言葉がありましたけども、できるだけご自宅でというのは、多分利用者さんも思われているとこ

ろが多いのではないかなと思いますので、ぜひともそのように進めていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

9 番、佐藤久哉君。

○9 番（佐藤久哉君） 595 ページ、委託料メール配信システムの保守管理業務、多分ささえねっとのことではないかと思いますが、このシステムの利用者数がどのように推移しているかわかれば教えていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） メール配信システムの関係の件数ということでお答えをさせていただきます。平成 31 年 3 月ですけれども、ささえねっこのほうになります行方不明情報につきましては 364 件、平成 30 年 12 月で 357 件、平成 29 年 12 月 347 件というふうになっております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 9 番、佐藤久哉君。

○9 番（佐藤久哉君） 高齢者の方が多いということで、こういったメール配信というのはどうなのかなと思ったのですが、結構よその町の方のところ、よその町でも結構こういうのが普及しているということで、やっぱり時代なんだなと思うのですが、メール配信システムにささえねっくに緊急避難情報とかをのせる場合の定義みたいのがあるのかどうか、この機会にちょっとお聞きしたいのですが、こういったことをネット配信の中にのせるというルールづくりみたいのがあると思うのですが、それをちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） それでは、ちょっと詳しいところでの答えはできないのですが、今あるシステムの中で行方不明情報、それから防災情報、それとイベント情報、ヒグマの出没状況ということでございます。

行方不明状況につきましては必須ということで、申し込みをいただいた方については配信になるという形ですけれども、残りの三つについては任意ということになっております。参考までに防災の情報ですけれども登録している方、先ほど行方不明のほ

うの数字を申し上げたのですけれども、31年の3月で341件、平成30年12月で334件、平成29年12月で324件の方が防災情報のほうにも登録しております。

○議長（鹿中順一君） 9番、佐藤久哉君。

○9番（佐藤久哉君） やはりスピード感のある情報を手にする方法だということで、今後も普及に心がけていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） 今議員のほうからのご意見がありましたとおり防災も含めまして登録のときにはお話しをして進めていくようにしていきたいと考えております。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

4番、乃村吉春君。

○4番（乃村吉春君） 介護保険の関係、このごろ国の政策の影響もあるのかと思うのですけれども、かなり重症の人でも居宅介護でみている人が以前よりも増えているように思います。そういうことで、居宅介護ということになると、何人も手がわりがあればいいのですけれども、そうでない場合は、やっぱり家族の人に相当無理もかかると思いますので、そこら辺、介護保険の中身をみんなに理解してもらって、介護保険というか施設に入ると、かなり高額かかるという多分理解をしているのかなと、そういう人は思うのです。そこらは辺もうちょっと施設介護と居宅介護のいいところといいですか、そういうのもPRして、あまり家族が極端な負担にならないような方法も考える必要があるのかなと思うのですけれども、その辺について何かあればお答えいただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課主幹。

○保健福祉課主幹（千葉 誠君） やはり介護の状態が重くなって施設に入るというふうになると、非常に家族の方、それで入所ができないという状況になると、うちでみなければいけないということで、かなり負担が出てくると思います。そういった状況になる前に訪問等のことも実施しております。早い段階からご家庭の相談にのることを含めましてかかわって行って、できるだけそのようなことを少なくしていくというような形で取り組んでいきたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で、介護保険事業特別会計予算についての質疑を終結します。

◎議案第 21 号

○議長（鹿中順一君） 次に日程第 7、議案第 21 号 平成 31 年度津別町下水道事業特別会計予算について歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は 605 ページから 642 ページまでです。

2 番、小林教行君。

○2 番（小林教行君） 630 ページ、18 備品購入費の車両購入、予算の概要で非常用発電機運搬車両購入とありますけども、この購入に至った経緯、内容について伺いたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川 篤君） ただいまご質問ありました 630 ページ、18 節車両購入の関係でございますけれども、これにつきましては昨年 9 月の大規模停電の時に今発電機 2 台もっております。19 カ所下水のポンプ所がありまして全部電気で動かしていますから、それが止まってしまうと尿が流れなくなるということで、その 2 台の発電機を車に乗せて、あとデータで見れますから、ここがいっぱいになったら発電機を使って、ポンプを動かすと、そういう形でやっておりました。やはり 2 台で 19 カ所を動かすというのは非常に難しいということで、今年につきましては今活汲地区も全部こちらのほうにつないでいますので、そちらを主として昨年 12 月に補正させていただいて発電機を購入しました。それで道の補助事業のほうでも、その車については買うことは可能ということになりましたので、この際もう 1 台車両を購入して、非常時の対応にあたろうということで今回備品購入費として購入させていただく部分になります。これにつきましてはユニック付きの平ボディーの車を予定しております。

ほかの 2 台の車につきましては、業者から借りて対応するという形を考えております。

○議長（鹿中順一君） 2 番、小林教行。

○2 番（小林教行君） これは補助金を使つての車ということですので、ユニック付きの 1,000 万ですので大きな車なのかなと思うのですが、非常用の時にしか使えないのか、ほかにまわして使うということとはできないのかお伺いしておきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 建設課長。

○建設課長（石川 篤君） 今考えておりますのは、下水処理場に置いておこうかなというふうに考えているのですが、使っていない時はなるべく有効に使えるのかなと考えております。

○議長（鹿中順一君） 2 番、小林教行君。

○2 番（小林教行君） 昨年の 9 月の時にはブラックアウトで目に見える部分も大変だったのですが、こういった目に見えない部分で非常に大変だった、ご苦労があったのかなと推察するところでございます。あつてはならないことですが、こういったところ、目に見えないところも充実させていただいて、災害に備えていただきたいと思います。

以上、終わります。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で下水道事業特別会計予算についての質疑を終結します。

◎議案第 22 号

○議長（鹿中順一君） 次に、日程第 8、議案第 22 号 平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について歳入歳出一括質疑を許します。ページ数は 643 ページから 681 ページまでです。

ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で簡易水道事業特別会計予算についての質疑を終結します。

これより平成 31 年度各会計予算について討論を行います。

討論は議案第 17 号 平成 31 年度津別町一般会計予算についてから、議案第 22 号 平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算についてまでの 6 件について一括討論を行います。

まず原案に反対者の発言を許します。

(「なし」の声あり)

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

9 番、佐藤久哉君。

○9 番（佐藤久哉君） 〔登壇〕 ただいま議長から発言のお許しをいただきましたので、本定例会に上程されました平成 31 年度一般会計予算 60 億 6,400 万円、国民健康保険事業特別会計予算 8 億 8,690 万円、後期高齢者医療事業特別会計予算 9,050 万円、介護保険事業特別会計予算 5 億 7,870 万円、下水道事業特別会計予算 3 億 9,380 万円、簡易水道事業特別会計予算 4 億 8,370 万円の 6 会計の予算に対しまして、賛成の立場で討論を行いたいと思います。

我が国の景気動向は戦後最長の景気拡大を更新する勢いであります。名目成長率が二けたの伸びを示していたいざなぎ景気の当時のような景気拡大とは程遠く、給料が上がったと実感できる実質賃金の伸び率も低迷しており、地方においては景気浮揚の実感はありません。そのような中、国は平成 27 年度に人口減少克服と地方創生をテーマに、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方の活性化を図ることとしました。平成 31 年度は事業実施の 4 年目にあたり、成果が求められる時期にきたと考えねばなりません。本予算案には、総合戦略の目玉として期待を寄せるまちづくり会社を担い手とするまちなか再生と町の賑わい創出事業、1,841 万 8,000 円、移住、起業、空家等利活用促進事業 4,933 万円が計上され、事業成果が徐々に見える化する予算となっていると考えます。また、持続可能なまちづくりに向けての公共施設整備予算として庁舎建設事業費 8,483 万 4,000 円、消防庁舎建設費用を含む消防総務費 3 億 2,056 万円が組み入れ、町長 4 期目の 2 大公約である買い物環境と公共交通の整備に向け、複合商業施設等基本計画策定業務 297 万円、地域公共交通アドバイザー業務 479 万 6,000 円が計上されたことは、町長の公約達成への使命感の表れとして評価に値します。

しかしながら、津別高校振興対策事業として上程された公設塾通年化に向けた公設塾運營業務 2,058 万 5,000 円、公設塾通年開設業務 3,470 万 6,000 円については所管の委員会や全員協議会での議論が不足しており、議会の合意を得るためには、さらなる検討と議論が必要だと考えます。よって、この二つの事業については、新年度において所管の委員会で議論、検討を重ね、委員会、全員協議会の合意を得てから執行することを条件に本予算案に賛成の意を表するものであります。

最後に、昨年 10 月 23 日の決算委員会において行政事務の不適切処理により平成 29 年度の決算が不認定となりました。本年度の予算執行にあたっては、丁寧な行政事務を心がけ、事業の執行に慰労のないように強く要望し、私の賛成討論を終わらせていただきます。

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） これで討論を終わります。

これより、平成 31 年度各会計予算について採決します。

この採決は起立によって行います。

まず、議案第 17 号 平成 31 年度津別町一般会計予算について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 18 号 平成 31 年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 19 号 平成 31 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 20 号 平成 31 年度津別町介護保険事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 21 号 平成 31 年度津別町下水道事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 22 号 平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

以上の結果、議案第 17 号 平成 31 年度津別町一般会計予算についてから、議案第 22 号 平成 31 年度津別町簡易水道事業特別会計予算についてまでの各会計予算は、いずれも原案のとおり可決されました。

◎発議第 1 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 9、発議第 1 号 閉会中の継続調査（審査）について（各常任委員会）を議題とします。

各常任委員会委員長より所管事務のうち、津別町議会会議規則第 75 条の規定によってお手元に配りました申出書のとおり特定事件の調査事項について閉会中の継続調査（審査）の申し出がありました。

お諮りします。

各常任委員会の委員長の申し出のとおり閉会中の継続調査（審査）とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、各常任委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることに決定しました。

◎発議第 2 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 10、発議第 2 号 閉会中の継続調査（審査）について（議会運営委員会）を議題とします。

議会運営委員会委員長より特定事件について、津別町議会会議規則第 75 条の規定によって、お手元に配りました申出書のとおり閉会中の継続調査（審査）の申し出がありました。

お諮りします。

議会運営委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、議会運営委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることに決定しました。

◎発議第 3 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 11、発議第 3 号 懸案事項促進のための議員の派遣についてを議題とします。

平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの懸案事項促進のための派遣用務の選択、派遣議員の人員、人選、派遣期間及び用務地等をその都度議長において検討の上決定し、議員を派遣したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、懸案事項促進のための議員の派遣については、平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までは必要に応じ派遣用務の選択、派遣議員の人員、人選、派遣期間及び用務地等をその都度議長において検討を行い、議員を派遣することに決定しました。

◎報告第 2 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 12、報告第 2 号 専決処分の報告について（中型スクールバス購入に係る変更契約の締結について）を議題とします。

町長から平成 30 年 5 月 25 日議決の中型スクールバス購入に係る変更契約の締結について、地方自治法第 180 条第 2 項の規定により、専決処分の報告書の提出がありましたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承願います。

◎報告第 3 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 13、報告第 3 号 例月出納検査の報告についてを議題

とします。

監査委員から平成 30 年度 11 月分、12 月分、1 月分の例月出納検査について報告書が提出されたので、本定例会に報告するものであります。本件についてはご了承を願います。

暫時休憩をします。

休憩 午後 1 時 49 分

再開 午後 1 時 52 分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

◎閉会の議決

○議長（鹿中順一君） お諮りします。

本定例会の会議に付された事件はすべて終了しました。

したがって、会議規則第 7 条の規定によって本日で閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、本定例会は本日で閉会することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（鹿中順一君） これで本日の会議を閉じます。

平成 31 年第 3 回津別町議会定例会を閉会します。

ご苦労さまでした。

（午後 1 時 53 分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員